

リハビリテーション医学		講義	教授 澁谷 正史 講師 木下 美聡
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門基礎科目	科目ナンバリング	12321304

### 1. 授業のねらい・概要

柔道整復師としてリハビリテーションに関わる患者さんを正しく理解・管理するために、診断・評価（検査・測定）・治療・予後に必要となる基本的知識を修得し、また地域医療に関わる一員としての技能と態度を身につけることを授業のねらいと考えている。さらに高齢化医療や在宅医療におけるリハビリテーションの役割も併せて理解できるようにしていく。

### 2. 授業の進め方

1. 講義はパワーポイントを使用し、ならびに語句を理解するための資料も配布する。必要な場合は、映像資料も使用し解説致します。
2. 授業は対面で行い、学生は、各自、筆記用具（できれば色鉛筆も）用意し、授業内容をノートしてください。

### 3. 授業計画

1. リハビリテーションの理念	9. 治療技術②（作業療法，言語聴覚療法）
2. リハビリテーションの対象と障害者の実態	10. 高齢者のリハビリテーション①（フレイル，認知症）
3. 障害の階層とアプローチ（ICD，ICIDH，ICFの違い）	11. 高齢者のリハビリテーション②（脳卒中）
4. 評価学①（身体初所見，ADL）	12. 運動器のリハビリテーション①（骨折の治療）
5. 評価学②（画像診断，運動失調）	13. 運動器のリハビリテーション②（上肢損傷後症候群）
6. 治療学①（関節拘縮，リンパ浮腫）	14. 運動器のリハビリテーション③（アキレス腱断裂）
7. 治療学②（筋力強化，全身運動）	15. 障害者とスポーツ
8. 治療技術①（理学療法）	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ①授業計画に従って予備知識習得を1時間程度行ってください。（教科書を読み，学習キーワードをチャート式にまとめると良い）
- ②各單元ごとに実施する確認テストのための学習（各單元ごとに学習した内容の復習）を30分～1時間程度行ってください。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ①確認テストを実施し，その後の解説講義で，前回までの授業キーワードを再度説明します，そのことにより知識の定着をはかります。
- ②定期的に提出頂くレポート（3～4回分の授業終了後）は国家試験の過去問を解いて頂きます。その解説を行うことで国家試験の内容を理解して頂きます。

### 6. 授業における学修の到達目標

- ①リハビリテーション医学の用語を覚え，使用できるようになる。
- ②神経系による運動器のコントロールについて理解し，患者（場合によってはアスリート）に説明できるようになる。
- ③リハビリテーション医学の対象となる各疾患の評価，診断法について学習し，実施できるようになる。

### 7. 成績評価の方法・基準

レポート（25%），確認テスト（25%），期末試験（50%）を基準として総合的に評価する。

### 8. テキスト・参考文献

**9. 受講上の留意事項**

- 1) 本講義は、対面で行いますが、補助教材は学生のメールアドレス、あるいは、google classroom に一斉送信することがあります。その際は、それぞれプリントアウトして利用してください。
- 2) 提出物は、指定された様式にて提出してください。(提出物には必ず、所属、学籍番号、氏名等の連絡先の記入をお願いします。)
- 3) 教員へのコンタクト方法：教員への直接の質問は授業後、又はオフィスアワーで受け付けます。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当しない。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。